

2022年度 光塩女子学院 2月1日	総合	受験番号	氏名	得点
--------------------------	----	------	----	----

	(1) イ	(2) ア	
	<p>(3) 表2では木の棒の数が8の倍数のときに1円玉の数が1枚ずつ増えていきます。24本のときに4枚なので、32本あるときは光子さんの予想通り、私も5枚目でしずむと思います。</p>		
	<p>(4) 30kgは30000gなので、1円玉を30000枚乗せることができる木の量が必要です。表2では木の棒8本で1円玉を1枚乗せられるとわかるので、$8 \times 30000 = 240000$より、24万本の木の棒と同じ量の木が必要になります。ただ表1を見ると、表面張力があるときは、これより少ない本数でよいのだと思います。</p>		
問 1	<p>(5) 表3を見ると、2つのキリで底面積はちがうのに水の中に入っていた長さが同じになっています。だから底面積は関係なく、水の中に入っていた長さに注目して比べるとよいと思います。木の棒の高さは4.5cmなので、実験3と同じ10cmに合わせると、水の中に入っていた長さは$2.3 \div 4.5 \times 10 = 5.11 \dots \text{cm}$になります。これは表3のシラカバと同じ長さなので、木の棒はシラカバだと思います。</p>		
	<p>(6) 切りやすくて丈夫な木を使います。浮かぶ力が小さいと困るので、表3の中ではキリがよいと思います。また浮かびすぎていると安定しにくいと思うので、重い荷物を真ん中に置けるように場所を用意して、バランスを取りたいと思います。そして丈夫なイカダにするために木と木をしっかりひもで結びたいです。</p>		
問 2	<p>ある本で、ウーロン茶と緑茶は同じ種類の茶葉から作られているという内容を読んでとても驚いた。どのようにして違う味に作られているのか、他のお茶は同じ茶葉からできているのかなど、興味をもって自分で深めて調べてみたら、発酵の仕方で味が違い、紅茶も同じ種類の茶葉であるなど、お茶についての様々な新しい知識を得ることができた。このように「驚く」ことは発見や新しい学びにつながっているのだ。</p>		

問 3	① 広島 二度と核兵器 <small>かくへいき</small> を使った戦争が起きないようにしたいという願い。		
	東北 東日本大震災 <small>たいしんさい</small> での津波 <small>おそ</small> の恐ろしさを伝え、普段 <small>ふだん</small> から災害に備えてほしいという願い。		
問 4	② 語り部 <small>べ</small> の高齢化 <small>こうれいか</small> によって活動がすたれ、戦争や震災 <small>しんさい</small> から時間が経過することで記憶 <small>きおく</small> が風化してしまうのではないかと心配があり、どのように若い世代 <small>う</small> に引き継いでいくかという課題 <small>かか</small> を抱えている。		
	ウ		
問 5	光合成によって、二酸化炭素を吸収し、酸素を放出していること。		
	木が根をはっているおかげで、土砂くずれが起こりにくいこと。		
	木の枝に鳥が巣をつくるなど、動物たちの住みかとなっていること。		
問 6	(1) ①	葉	② 枝
	(1) ③		根
問 7	(2) 人や様々な生き物に対して多くの恵みや愛情をもたらし、生態系を支えながら個性豊かなことのすばらしさを教えてくれる、大切な存在のきみが好きだよ。		
	私の友達の中に、「なのね、なのよ」など、いわゆる女の子が使うとされている言葉づかいをする男の子がいる。世間では「変」と思う人もいるかもしれないが、私はその子が使いたいのならいいではないかと思っている。私はその子に、「その癖 <small>くせ</small> を直さずに、のびのび使って長所 <small>はいじよ</small> にしたら良い」と言ってあげたい。癖 <small>くせ</small> を悪いものとして排除するのではなく、長所 <small>はいじよ</small> と見て上手に生かして使う考え方が良いと思う。だから、無意識のうちに友達に「変だよ」などと言ってしまったら、すぐに謝るように心がけていきたいと思う。そうやって、「多様性」を大切に作る世の中にしていきたい。		